



# [ エマオ通信 ]

No.2 (9月17日発行)  
 発行人 高良 研一 (会長)  
 編集人 稲川 仁 (副会長・事務局長)  
 発行者 木村 均 (書記)

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 「伝道者養成と教会形成を担う働き」

24/25年度主題：「私と教会が元気になるには」 聖句：わたしたちの心は燃えていたではないか (ルカ 24:32)

## <メッセージ> 日本バプテスト連盟 地域協働委員会委員長 伊藤光雄 (姪浜教会 協力牧師) 「私たちも心を燃やして」

私の自宅の玄関には姪浜教会鈴木牧人牧師が描いてくださったエマオへの道があります。昨年11月私の協力牧師就任式の際に記念品として贈られた素敵な絵で私は玄関から出入りするたびにこの絵が私の目に入ります。「二人は、『道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか』と語り合った。」(ルカ 24:32)とありますが、私たちが互いに交わり、話しているとき、礼拝でメッセージを聞いたとき私たちの心が燃えたではないでしょうか。そして信仰へと、あるいは伝道者へと導かれたではないでしょうか。

私たちはコロナ感染拡大の影響を受けて約3年間主日礼拝、諸集会・活動が止まってしまう事態が起こり、今も思うように動けずにいる教会・伝道所の声を聞きます。今必要なことは互いにつながってみ言葉を聴き、祈り合い、語り合って心を燃やしていくことではないでしょうか。

10月19日(土)10:30~12:00に全国壮年会連合オンライン研修会を行ないますが、まずオンラインを通してみな様ご自身心が燃えたときのことを思い起こし、そこから一步踏み出して全国の諸教会・伝道所の皆様とつながって語り合い、祈り合い、キリストの福音を広めていこうではありませんか。



## <証①> 北海道の合同 WEB 礼拝

### 北海道地方連合壮年会長 兼神学校献金推進委員 西島啓喜 (帯広教会)

8月11日、室蘭教会・苫小牧教会・帯広教会の3教会で合同のWEB礼拝を初めて行いました。もともと室蘭教会と無牧師の苫小牧教会が二か月に一度WEBによる合同礼拝をしていたのですが、その2教会にインドネシアからの留学生や介護職員がいてよい交流をしていることをお聞きし、たまたま帯広にも介護職員としてインドネシアの方が礼拝に出席していることから3教会で合同礼拝をしようということになりました。当日は室蘭の吉田尚志牧師が3人の留学生を引率して帯広に来てくださり、帯広から室蘭・苫小牧にzoomで配信するという形をとりました。苫小牧からは予定が合わず残念ながら今回は出席できませんでした。礼拝ではインドネシア語の特別賛美、会衆賛美、主の祈り、留学生の証しを交えていつもとは違う雰囲気、留学生の元気な賛美と証しに力づけられました。帯広の介護職員も久しぶりに母国語で賛美し、おしゃべりし元気をもらったようです。

北海道は広い大地に15の教会が点在しており、隣の教会と交流することも簡単ではありません。しかし、コロナの試練を経て手に入れた新しい手段により別の形で交流することができるようになりました。北海道では今後もいくつかの地区でWEBによる合同礼拝が計画されているとお聞きしています。新しい協力伝道がどのような形で広がっていくのか楽しみでもあり期待しています。



3教会に向けてメッセージする川内活也牧師 (帯広)



室蘭教会・吉田牧師と留学生たち



インドネシア留学生による讃美



留学生を交えて愛餐のとき

## <証②> 牧師献身者から信徒献身者へ 石橋憲 (瑞穂教会)

16年前の2008年、私は献身者研修会を受けに天城山荘に向かいました。献身する気満々だった私ですが、研修会を担当した牧師先生から「主からの召命はありますか」と聞かれ、「ん？どうだろう」と、立ち止まり、自分は祈りも覚悟も足りない者だと気づかされ牧師への道を思い直しました。その後2012年に私は一信徒として人生を神様に仕え捧げたいという決心を与えられました。教会の壮年の先輩方の教会を通しての主への献身、そしてどんなときも教会を、牧師を支えようという揺るぎない姿勢から多くを学びました。

今、私は普段は東京で生活しながら、自分にとっての神の家族である教会を支えたいと、なるべく月に1度は名古屋に戻り礼拝を捧げています。コロナにより、遠く離れていても教会の働きに仕えることが出来るようになりました。毎週350km離れた地からオンライン礼拝や週報の配信準備、教会員への案内やウェブ管理を通して教会の働きにしています。遠くにいても繋がり、仕えることが出来感謝です。

昨年2023年9月に、私は世界最大の信徒伝道団体である国際ギデオン協会の日本の総主事に就任しました。不思議なことに、ギデオンには過去も現在も理事やリーダーに多くのバプテスト連盟の信徒がいます。万人祭司や信徒指導者のスピリットを受け継ぎ、信徒だからこそ出来る種蒔き、収穫、そして働き手としての務め(マタイ9:37-38)に、私たちは召されていることを主に感謝します。



### <今後の歩みと働きのための祈り>

- 信徒ひとり一人が、献身者となり、神学校での(オンライン)受講等により良き学びを得て、日々の伝道に励み、教会形成の働きを担うことができるように。
- 各神学校(西南大、東京バプ・九州バプ)で学ぶ献身者が更に起こされ、神学生が将来の良き牧会者となる為に、豊かな良き学びと研鑽ができるように。
- 来年度より神学校献金が、神学生奨学金のみならず、東京バプ・九州バプの両神学校への運営資金の支援(年間350万円)として豊かに用いられるためにも、神学校献金の目標(24年度総額2500万円)達成の為に、各教会で豊かな取組みができるように。
- 「私と教会が元気になるには」の年間主題のもとに、この「エマオ通信」により、日々の歩みの中で元気に歩んでおられる多くの方々の主にある証を分かち合うことで、自分と教会が元気になるキッカケとなり、聖霊の導きのもとに教会が元気になるための働きを担うことができるように。
- 来年度第60回全国壮年大会(浦和教会でオンライン併用) 2025年8月22(金)/23日(土) 浦和教会 北関東連合壮年会実行委員会委員長 戸田 浩司(西川口教会)  
主題:「これからの No Border な教会の話をしよう - 教会が「教会」であり続けるために -」  
主題講演: 朴 思郁先生(日本バプテスト連盟宣教研究所所長、西川口教会牧師)  
多くの参加者により良き大会となる為の準備のために。
- 教会形成を担う働きとして、中部連合壮年会の福井教会への協力伝道のように、各地方連合の壮年会を通じて伝道隊を含めた協力伝道の業を具体的に推進できるように。
- 10月19日(土)10:30~12:00 オンライン研修会「私と教会が元気になるには」  
講師: 伊藤光雄先生(姪浜教会協力牧師) 日本バプテスト連盟 地域協働委員会委員長

### <お願い>

- 本ニュースレターで掲載しました、北海道連合の協力伝道の証のように、それぞれのところで主にあって頑張っておられる方々や働きをご紹介ください。このエマオ通信でその証を紹介してまいります。
- 第1回壮年大会(1965年目白ヶ丘教会他)開催以来の大会資料をお持ちの方をご紹介下さいますように。

### <その他>

- 2024西九州大会(第59回全国壮年大会)のYouTube配信中。下記ホームページをご覧ください。  
[2024西九州大会\(第59回全国壮年大会\)の報告とYouTube配信します。 | 日本バプテスト連盟全国壮年会連合\(sonen.net\)](https://sonen.net)



ご意見いただけますと幸いです。

sonen@bapren.jp

(編集人)